



# 大新News

発行：(株)大新工務店・埼玉県入間郡大井町桜ヶ丘1-1-34 ・お問い合わせ：049-261-3960



スポーツの秋

## 読書の秋



食欲の秋



記録的な猛暑の今夏が、ようやく一息つき、朝夕に吹く風を気持ちよく感じられる季節となりましたが皆様いかがおすごでしょうか。

暑くて暑くて、本など読む気にはなれなかったという方も多いかと思いますが、これからの過ごしやすい季節、秋の夜長に本を友として過ごしてみたいはいかがでしょうか。



このところの、携帯メールやパソコンなどの驚異的な普及の影で、ますます『活字離れ』が進んでいると言われていています。それでも、出版される本の数は増えているといえます。どんなに便利な世の中になっても『読む』という能力が人間の基本的能力であり、読書が脳を鍛えるために、最も有効的だからではないでしょうか。

最近では大人になってからでも脳が発達すると言われていています。脳を鍛えるということは、スポーツで体を鍛えるように、読書で脳を鍛えるということです。それには、できるだけ脳全体を使う方法が効果的です。読書は多くの本の中から読みたい本を自分で選ぶところから始めて、目を通じて活字を脳に入力し、言葉の意味を理解し、解釈し、さらにページをめくるときの手触りや紙のにおい、時には声にだして読んだり、読後には感想を話したり、と脳をフル回転で使うことができる、最も効果的な脳の訓練といえるでしょう。そして、この訓練方法は子供からお年寄りまで、共通しているといえます。

人生80年時代といわれる昨今、いつまでも健康な体に健康な脳で快適に過ごしていくために、この秋、まずは気になる一冊をお手にとってみてはみませんか・・・



## えだまめちゃんのまめ情報

15年3月号に引き続き『自然素材』身近なものからご紹介いたします。

### 床材

#### 畳

畳は湿気をコントロールしたり、有害な物質を吸ったりと呼吸をして、湿度が高くなれば湿気を吸い、低くなれば湿気を放出するので、天然の『空気清浄機』といわれています。

畳は芯である畳床と、それを包んでいる畳表に分けられます。畳床の素材は昔は畳床といえば、わら床でしたが、最近はインシュレーションボードやスチレンボードなどを使った化学床、コルクや木片チップを入れた機能畳床なども出ています。

メリット： わら床は、**湿気を吸収・発散し、防音効果及び、弾力・耐久性にすぐれ、歩行感のよさは抜群**です。わらなので、つぶれに対する**復元力が強い**。

機能畳床・化学床は、**わら以上に防音効果があり、害虫がつきづらく、表面は非常に平らでわら床に近い歩行感**です。物により異なりますが、**とにかく軽い**。

デメリット わら床は**しけると腐れたり、ダニがわきやすく、重い**(1畳あたりの重さ約30キロ)

湿気を含むとますます重くなる。少しずつ**柔らかくなり、凹凸がしてくる**。  
**一度つぶれると2度と元に戻らない。大量の水分には弱く、ぐしょぐしょに濡れてしまうとふやけて使用不可能に・・・。**



### 編集後記



かつて、上の息子が4歳(現在小学2年生)だったころ・・・毎晩の日課は、寝る前の読み聞かせでした。そのころ特に気に入っていた絵本のひとつに『チップとチョコのおつかい』というのがあり、毎晩のように読まれたものです。内容は、二人の兄妹が初めてのおつかいに挑戦するというものでした。熱心に聴きいていた息子は、ある日ひとりで買い物に行くと言い出し、次の日に幼稚園に持って行くお弁当のおかずを買いに行ったのでした。(欲しかったキャラクター付のウィンナーやかまぼこは、残念ながら売っておらず、店員に薦められた普通のウィンナーとかまぼこを買って帰って来ましたが(; - ;))  
こうして、この『絵本との出逢い』がきっかけとなり息子にとっては、自立の一步としての『はじめてのおつかい』を経験することができたというわけです。

人生には、多くのきっかけがあります。そして人は、そのきっかけで大きく変わることがあるのではないのでしょうか。そのきっかけは、自分で見つけたり、人から与えられたり、偶然、出逢ったり・・・  
『本との出逢い』によるきっかけも、その中の大切なひとつではないでしょうか。

年齢をかさねるごとに、『自分』という殻を、知らず知らずのうちに厚くしてしまい、好きなことだけを受け入れ、新しいことには手を出さなくなったように感じます。

この秋は、『本との出逢い』をきっかけに、多くのことに影響されたり柔軟に受け入れられたりしながら、いつまでも『柔らか頭&ほんわか心』でいたいものです。